整理番号：

（財団事務局にて記入）

大成学術財団 2026年度 研究助成申請書

年　　月　　日

一般財団法人　大成学術財団

理事長　田中 茂義 殿

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 代 表 者（申請者） |  | 写　真  （2.4cm×3cm） |
| 所属機関・職名  (学部・学科まで記入) |  |
| 代表者(ローマ字) |  |
| 所属機関・職名(英語) |  | 専門分野 |
| 最終学歴・学位 |  |  |
| 生 年 月 日 | （西暦）　　　　年　　　月　　　日 | |
| 所属機関  所在地 | （〒　　　－　　　　）　　　　　　電話  　　　　　　　　　　Ｅ-mail | |

注）1.大学 、その他研究機関等に常勤し、主たる仕事が研究職として研究活動に従事している研究者、及び大学院に在籍する大学院生に限ります。

2.大学院生が代表者の場合は、共同研究者リスト（4ページ）に指導教官を記載してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 研究課題名（課題名は内容を具体的に示すものとしてください。） | | | |
| (日本語) | | | |
| (英語) | | | |
| 研究分野の分類  【大分類】 |  | 研究分野の分類  【小分類】 |  |

注）研究分野の分類については、本申請書8ページをご参照ください。

※「その他」を選択した場合は、Dまたは10の後に括弧書きでその分類名を記してください。

|  |
| --- |
| 事務連絡担当者  　　　氏名・所属  　　　連　絡　先（〒　　　－　　　　）　　　　　　　　　　　電話  　　　　　　　　　　Ｅ-mail |

　注）助成金の振り込み先等の事務手続きについて財団からの連絡に対応できる方です。

１．研 究 形 態

|  |  |
| --- | --- |
| 研　究　の　形　態  （該当するものを○印でかこむ） | 個人研究　　　共同研究（　　名）　国際共同研究（　　名）  ※( )内は申請者を除いた人数 |

注）共同研究者数を（ ）内に記載のこと。

　２．研 究 期 間

|  |  |
| --- | --- |
| 研　　究　　期　　間 | 年　　月　　～　　　　年　　月 |

３．申 請 金 額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　単位：円（税込）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 2026年度　助成申請金額（200万円以内） |  |  |  |  |  |  |  |

　４．当財団年度別助成希望額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　単位：円（税込）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 2026年度（上記３の金額をお書き下さい） |  |  |  |  |  |  |  |
| 助成継続希望の有無 (○印)　　　　有　　　　無  ※助成継続を希望する場合は  2027年度の希望額をお書き下さい。 |  |  |  |  |  |  |  |
| 合　　　計（総額400万円以内） |  |  |  |  |  |  |  |

注）助成は2年以内とします。2年目は中間報告書の提出によりあらためて内容を審査し、採否・金額を決定します。

５．研究の目的（その意義・価値・構想理由等）　※一般の方にも分かるレベルで表現してください。

|  |
| --- |
|  |

　６．研究の要約（(1)現状の課題、(2)内容、(3)方法、(4)期待される成果）

(1)～(4)について1ページ以内に要約してください。(2)内容には独創的・先駆的研究か、新しいアプローチで行う研究か、応用研究か等についても触れてください。また、一般の方にも分かるレベルで表現してください。

|  |
| --- |
|  |

　７．研究スケジュール（2026年度分）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　目 | 期　　間 | 内　　容 |
|  | 年　月～　　年　月 |  |
|  | 年　月～　　年　月 |  |
|  | 年　月～　　年　月 |  |
|  | 年　月～　　年　月 |  |
|  | 年　月～　　年　月 |  |

注）上表には、2026年度に実施する項目についてご記入ください。

|  |
| --- |
| ※次年度（2027年度）への助成継続希望の場合は、本欄に次年度の内容を簡潔に記入してください。 |

注）助成期間は申請初年度から連続する2年度を最長とします。

　８．本研究の代表者（申請者）及び共同研究者リスト

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研　究　者 | （ふりがな）  氏　　名 | 年　令 | 最終学校・専攻 | 所属機関・現職・学位・専門分野  （学部・学科まで記入） |
| 代表者（申請者） |  |  |  |  |
| 共 同 研 究 者 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

注）大学院生が代表者（申請者）の場合は、共同研究者に指導教官を記載してください。

注）代表者（申請者）を代理して財団からの連絡等に対応できる方です。該当者なしの場合は空欄としてください。

|  |
| --- |
| 代表者以外の連絡責任者  　　 （ふりがな）  　　　氏　　名  　　　連　絡　先（〒　　　－　　　　）　　　　　　　　　　　電話  　　　　　　　　　　Ｅ-mail |

　９．当財団以外の機関の助成

9-1 代表者又は共同研究者が本研究以外について他の機関に助成を申請した場合（予定を含む）は、その旨を記載してください。

（他の機関に助成を申請し、すでに助成が決定している場合は9-2に記載してください。）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 申請先の  機 関 名 | 研究費等の名称 | 代表者氏名 | 研 究 課 題 | 申請金額  （万円） | 助 成 期 間  　年　月～　年　月 |
|  |  |  |  |  |  |

9-2 代表者又は共同研究者が本研究以外について他の機関から既に助成を受けている場合は、その旨を記載してください。（助成期間が既に終了しているものは記載の必要はありません。）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 申請先の  機 関 名 | 研究費等の名称 | 代表者氏名 | 研 究 課 題 | 助成金額  （万円） | 助 成 期 間  　年　月～　年　月 |
|  |  |  |  |  |  |

10．2026年度分申請助成金の使途内訳（使途別に具体的に記入）

単位：円（税込)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 使途区分（内訳） | 数量(単位) | 単　価 | 所要額 |
| 設備備品費（品名） |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| **小　計** |  |  |  |
| 消耗品費（品名） |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| **小　計** |  |  |  |
| 旅費（目的・行先） |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| **小　計** |  |  |  |
| 謝金（事項・目的・相手先等） |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| **小　計** |  |  |  |
| 印刷製本費（具体的な内容） |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| **小　計** |  |  |  |
| 所属機関の間接経費（助成額の10%以内） |  |  |  |
|  |  |  |  |
| その他（具体的な内容） |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| **小　計** |  |  |  |
| 合　　　計（助成申請金額） | | |  |

注）1.助成対象研究に必要な費用のみ申請してください。未使用の助成金は返金していただきます。

　　2.助成期間終了後に領収証等の証憑（原本、必要に応じて返還）を添えて使途実施報告をしていただきます。

3.設備備品費とは助成対象研究に必要となる実験装置等のことをいい、助成対象研究以外に転用可能な**パソコン費用等は**

**申請できません**。また、設備備品費は申請助成金額の30％以内としてください。

4.旅費は実費（普通車指定席（鉄道）、エコノミークラス（航空機）利用）を申請してください。

　　5.人件費は申請できません。ただし、助成対象研究目的に限定した臨時雇用者費用は可とします。

　　6.飲食代は申請できません。ただし、会議等に供する茶菓代程度は可とします。

11．本研究の代表者及び共同研究者の研究歴並びに業績

（本研究に関連のある論文があれば、3題を上限とし、PDFデータにしてご提出ください。）

|  |  |
| --- | --- |
| 氏　　　名 | 研究歴並びに業績（論文発表、著書、受賞、その他） |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

■本申請書1ページの「研究分野の分類」欄について

申請した研究課題について該当するものを各項目1つ選んで、1ページの記入欄にご記入ください。

【大分類】

A. 建築・土木共通　B. 建築　C. 土木　D. その他

注1）申請者の原籍ではなく、応募した研究課題の内容に応じて選択してください。

注2）建築または土木に限定されない研究課題は、「A. 建築・土木共通」を選択してください。

【小分類】（研究分野）

1. 計画　2. 構造　3. 外乱　4. 設備・環境・エネルギー　5. 施工　6. 材料

7. 地盤・岩盤　8. 防災・減災・復興　9. リニューアル・長寿命化　10. その他

注3）計画論に関する研究課題のうち、建築計画や都市計画などは「1.計画」、防災計画や避難計画などは「8.防災・減災・復興」を選択してください。

注4）AI・IoT・ICT技術に関する研究課題の場合は、それを適用した分野を選択してください。例えばICT等を活用した自動化施工などは「5. 施工」を選択してください。

注5）複数の分野への関連が想定される研究課題の場合は、その趣旨に適した分野を選択してください。例えば、地震や津波に関する研究課題の場合、その外力評価は「3. 外乱」、外乱に対する架構システムやデバイス等は「2.構造」、被害調査手法等は「8. 防災・減災・復興」を選択してください。また、木材などは、木材架構の構造は「2.構造」、木材に関する環境評価は「4.設備・環境・エネルギー」、材料特性等は「6.材料」を選択してください。

※上記の例に含まれないものは、適宜判断して選択してください。

注6）大分類「D.その他」や小分類「10.その他」を選択した場合は、1ページの記入欄には、以下のようにDまたは10の後に括弧書きで分類や研究分野の名称を記してください。

　　［記入例］　D（○○○○）または10（○○○○）　　○○○○：分類や研究分野の名称